今こそ、少人数学級へ

いのちとくらしを守る政治へ

日本共產党

子どもの心のケアに取り組む手厚い教育が必要



6月1日から全国の学校が再開されました。長期休校で子どもの学習が遅れるとともに、子どもは不安やストレスを抱えています。学習の遅れを取り戻そうと7時間授業など詰め込み教育をすれば子どもに新たなストレスを与えます。子どもたちをゆったり受け止めながら、学びとともに遊びや休息を保障する柔軟な教育が大切です。

子どもたちの学び、ケアのために10万人の教員増を

日本教育学会では、子どもたちの学びと、ストレスや悩みに応える学校づくりのため教員 10万人増とスタッフの大幅増員が必要と提言を出しました。政府の第2次補正予算では、小・中学校の教員の加配は3100人で、10校あたり1人にすぎません。

教員の大幅増は学校での感染拡大を防止する うえでも必要不可欠です。日本教育学会が提唱す る教員10万人増を実現すれば、全国的に20人 程度の授業が可能になります。

日本教育学会の「提言」

- 小学校3人、中学校3人、高校2人の教員増 (合計約10万人)
- ICT支援員、学習指導員を小中学校に4人、 高校に2人配置(合計約13万人)

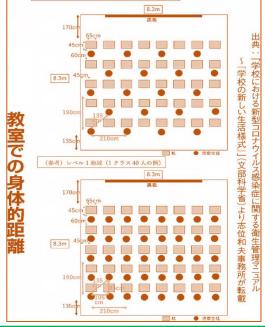
必要な予算 約1兆円

コロナ対策のためにも、少人数学級へ

現場では約20人の分散授業の取り組みなどが途中で終わり、最後まで緊急事態宣言が続いた8都道府県でも大半が15日から40人学級に戻る予定です。20人授業を続けるには現在の教員数では少なすぎます。「身体的距離の確保」を「新しい生活様式」として取り組むのなら、子どもが学校で最も長い時間を過ごす教室でも保障すべきです。

(参考) レベル2・3地域 (1クラス20人の例)





ほっかい新報

発行所/ほっかい新報社 (1965年8月10日第3種郵便物認可) 〒065-0012 札幌市東区北12条東2丁目3-2 ◆日本共産党北海道委員会の見解を紹介します ご連絡・ご要望は日本共産党北海道委員会まで TEL011-750-1500、FAX011-750-1501

≪北海道民の声を国会へ≫

紙智子参議院議員

「暮らしを守れ」と政府に迫る

(写真は「しんぶん赤旗」提供)

- ●JR 北海道の経営改善と新型コロナ被害への政府の 支援を—
- ●北海道新幹線の札幌延伸問題に伴う残土処分問題は 住民反対の声を尊重し白紙に—

5月18日の参議院決算委員会では、新型コロナを加味した JR 北海道への支援と、北海道新幹線の札幌延伸問題に伴い発生する残土問題で「住民の同意がない中で、処分地は白紙に戻し、考え直させるのが国の責任だ」と厳しく問いただしました。

●新型コロナ対策として中小の旅行会社 への支援を一

5月18日の参議院決算委員会で、新型コロナ対策で、航空便の減便によって、航空券の払い戻しを行っている中小の旅行会社の窮状と対策について質問。中小の旅行会社は、お客様への払い戻しをしていますが、航空会社から旅行会社には払い戻しはされません。紙議員は支援を求め、大臣は、第2次補正の審議のさいに適切な対応を行えるようにしたいと述べました。

●新型コロナの影響で苦しむ水産業に 支援拡充を一

道内のホタテ貝が、輸出ストップ、外出 自粛で需要が落ち込んでおり、北見市の漁 協によると浜値は4割ダウン、在庫が積み 上がり保管場所を探している状態。5月12 日の農林水産委員会で紙議員は支援の拡 充を求めました。農水大臣は「沿岸漁業に 対して支援策をしっかり検討したい」と答 弁しました。

新企画はたやま和也の

Monday Evening

日本共産党北海道委員会が新企画スタート!!

- ◆毎週月曜日の午後5時からYouTubeで配信。 その後ならいつでも見られます。
- ◆一週間のニュースをわかりやすく、前衆議の はたやま和也さんが解説します!
- ◆「情勢がわかりづらい」「ニュースをわかりやすく知りたい」の人にオススメ!たった10分以内なので、通勤途中や寝る前などちょっとの時間でみられます!
- ◆「日本共産党北海道 YouTube」と検索してください。





しんぶん赤旗電子版 2カ月無料 6/20まで読める



真実を伝える新聞、ネットでお申込みできます。

新型コロナの記事を無料公開

しんぶん赤旗 (日刊紙・日曜版)